



（「朗読の会 ほおずき」の活動の様子）

### 【第3章】

## ボランティアグループ

「ボランティア活動を通して、多くの経験や喜びをいただいているので、辛いとか苦労しているという気持ちは全くないんですよ。」と話されるボランティアの皆さん。

本市にも多くの個人・団体の皆さんが、身近な暮らしを支えるボランティアとして、日々活躍しています。

そんな私たちの身近にいるボランティアの皆さんの姿を追いました。

#### ボランティア活動とは

「ボランティア」とは、もともと「意思」や「志願」を意味する言葉です。

ボランティア活動は、あくまでも自発的な活動であり、義務や強制ではありません。「私たちに何かできることはないだろうか」と考え、一人ひとりの自由な意志により、見返りを求めず自分から進んで行う活動のことです。

ただ、個人の意志により行動するといえども、自己の利益を目的とするものではない

く、他人の利益を図るといった「利他性」が求められ、その活動や目的が社会に開かれたものである必要があります。近年、生活様式の多様化などにより、地域住民の相互の交流が希薄になり、近隣同士の付き合いも少なくなっているといわれています。

このような社会状況の中で、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指すには、共に助けあい、相手の心を思いやるボランティア活動は大変重要であると考えられています。

#### 本市の状況

市内には、中野市社会福祉協議会に登録のあるボランティアグループだけでも、43グループあります。

「演芸ボランティア」や「地域ボランティア」、「施設ボランティア」など数多くの種類がありますが、その中から今回は「障がい者・高齢者支援ボランティア」の皆さんの活動を紹介します。

### 手話を覚えよう



【手話】

ここだけは抑えておきたい日常生活でよく使う手話を、中野手話サークルの皆さんに教えていただきました。

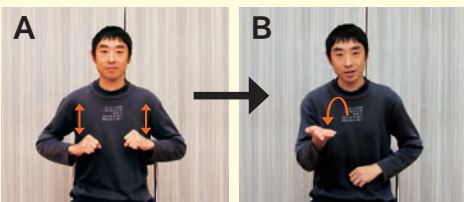
皆さんもこの機会にぜひ覚えてみましょう。

#### ① こんにちは



軽くおじぎをしながら両手をグーにして、人差し指を立て、すぐ曲げます。

#### ② 元気ですか



(A) グーにした両手を下に向け、体の脇で力強く両手を2回下ろします。(B) 続いて「あなたは？」というように手を差し出します。



## 朗読の会 ほおずき

### 【プロフィール】

平成11年12月に結成し、現在14人の会員で活動している。福祉施設・児童センターでの読み聞かせのほか、図書館での朗読会などにも参加し、活動を行っている。



毎週木曜日に中央公民館で定例会を行い、手話の学習などを行うほか、月に1回交流会を行い、会員同士の親睦を深めています。販売業を行う中で聴覚障がい者とコミュニケーションを取るために始めた方や、80歳を超えてポケ防止になるからなど、手話サークルに入った理由はさまざまですが、手話を学ぶことで、障がいのある方に気構えることなく話ができるようになったことに、とても幸せを感じます。

メンバー同士の仲もとても良く、毎週木曜日が来ると、定例会があることを思い出して気持ちが暖かくなり、みんなの顔を見るとほっとした気分になります。手話普及のため、全国各地で手話言語条例が制定されるなど、手話を行うことが特別なことではない社会ができています。手話を知らないからと気構えることなく、興味があればぜひ私たちの仲間となって活動を楽しんでいただきたいです。

# 01 朗読を待っている人たちに喜びと笑顔を届けたい

毎月第1木曜日に図書館で定例会を行い、発声練習や朗読について学んでいます。

また、依頼のあった福祉施設や児童センターなどで活動しています。

本が好きで会員になった方や、考えることがポケ防止になるからなど、始めた理由はそれぞれですが、会員同士のつながりがとても深く、同じ目的を持つ仲間たちと一緒に活動できるので、とても自分自身の成長につながっていると思います。

年寄りの方が、身を乗り出して聴いてくださるので、その気持ちがとてもうれしです。ですから、その方たちに喜んでいただくよう作品を選んだり、いろんなお話を勉強したり、活動を通して自分の世界も広がったように感じます。

会員同士でお互いを支えあいながら活動をしているので、朗読ボランティアに少しでも興味がある方は、気軽に参加していただければと思います。

# 02

## 手話を通じ 会話ができる幸せを感じてほしい



## 中野手話サークル

### 【プロフィール】

昭和51年10月に結成し、現在約10人ほどのメンバーで活動している。週1回、中央公民館で手話の学習を行うほか、福祉イベントへの参加や聴覚障がい者との交流などを行っている。

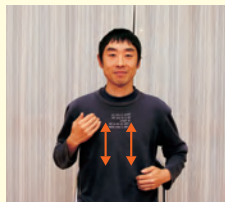


### ⑤ ありがとう



左手は手のひらを下に向け、左手の甲から右手を縦に垂直に上げます。

### ④ うれしい



両手を自分の正面で交互に上下させます。この時、表情も大切です。

### ③ ごくろうさま



両手を握り、左手を横に倒し、右手で左手の手首を2～3回たたきます。

こちらの動画を見ることができます。



中野手話サークル 小林利江子 会長



動画を視聴できます